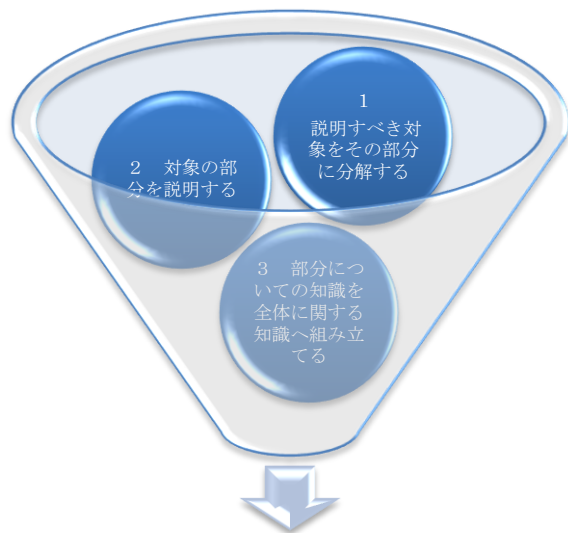
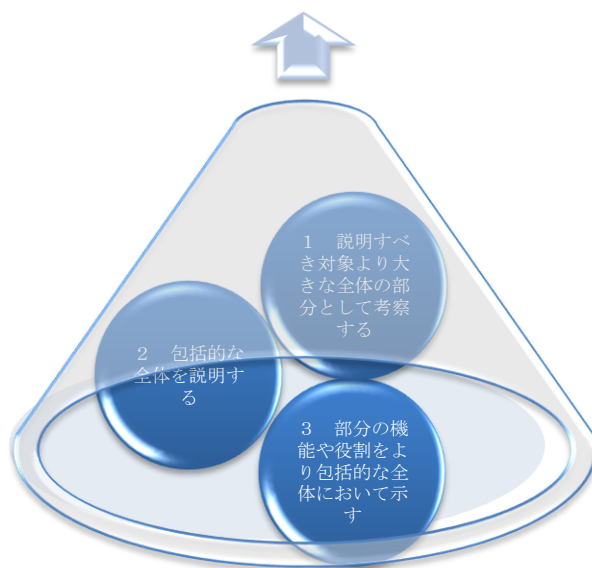


1 統合的思考



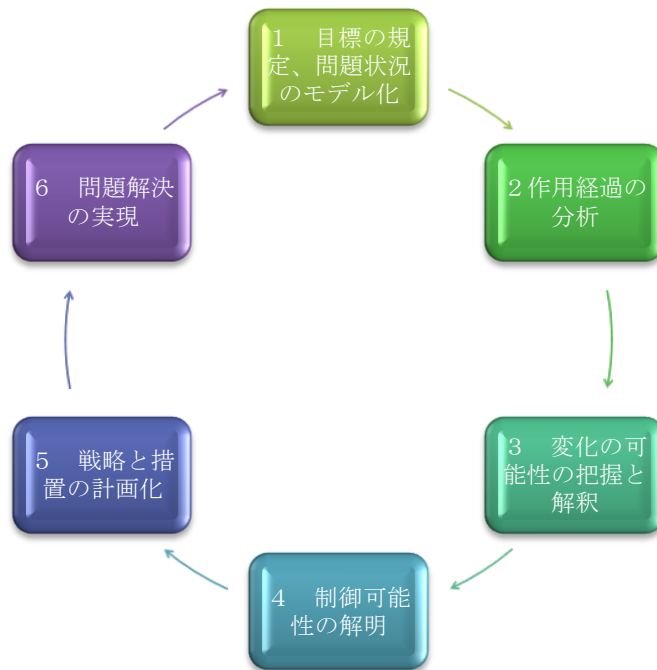
分析的手順

統合的手順



	単純な状況	複合的な状況
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少ない同種類の諸要素 ・ 弱いネットワーク ・ 僅かな諸要素の行動可能性 ・ 玄適適で安定的な作用経過 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの異なった諸要素 ・ 強いネットワーク ・ 諸要素の多くの異なった行動可能性 ・ 多くの不安定な作用経過
把握可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 完全に分析可能 ・ 定量化可能な行動 ・ 予測可能 = 分析的に説明可能 = 確実性を実現可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限定的に分析可能 ・ 限定的に定量化可能な行動パターン ・ 認識可能 = 総合的に理解可能 = 不確実性を低減可能
適切なモデル化のアプローチ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手本：「機械」 システムの型：単純なシステム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手本：「生態系」 システムの型：単純でないシステム
適切な思考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 因果分析的思考 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体思考
適切な問題解決方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「精密な、定量的方法」 ・ アルゴリズム 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「不正密な、定性的方法」 ・ 発見的な方法
事実上の影響可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計可能 ・ 「残余リスク」をもって克服可能 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 限定的に形成可能 ・ 限定的に制御可能 ・ 「洗練可能」

3 全体的問題解決過程の六つのステップ



4 問題解決過程の概観

